

◎第 14 回 豊丘村リニア対策委員会 を 平成 30 年 5 月 30 日（水） 午後 7 時 00 分～ 保健センター2F にて開催しました。

- 委員出席者数 29 名 ○長野県 2 名 ○JR 東海 14 名(内 JV 4 名) ○中部電力 3 名 ○豊丘村 5 名
- 傍聴者数 19 名

1. 開 会 [事務局より 農業委員の任期満了により、2 名方が退任され、新たに篠塚さん、代田さんに委員委嘱した旨の説明と紹介]
2. 村長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 事業関係者等あいさつ

○長野県 リニア整備推進事務所 胡桃調整課長 ○JR 東海 名古屋建設部 古谷長野担当部長 ○中部電力 リニア関連送変電グループ 永井統括部長

5. 協議・報告事項

(1) 現在の進捗状況について

①JR 東海 道路改良工事の進捗状況について配布資料とパワーポイントを使って説明

・道路工事進捗状況について

村道長沢線、村道中央線について

五差路を除いて施工完了

林道大島虻川線の道路改良工事と落石対策工事について

計画 道路改良 83 箇所 落石対策工 17 箇所

施工完了 道路改良 56 箇所 落石対策工 10 箇所

施工中 道路改良 11 箇所 落石対策工 7 箇所

未施工 道路改良 16 箇所

橋梁補強 計画 5 箇所 施工中 2 箇所

村道中央横断線の道路改良工事について

計画 道路改良 14 箇所

施工完了 道路改良 7 箇所 施行中 6 箇所 未施工 1 箇所

・県道長沢田村線道路改良計画について

道路改良、樹木枝払い伐採、側溝改良覆蓋設置、カーブミラー設置 等

・道路工事工程について

県道長沢田村線の改良工事については、平成 30 年 10 月まで延長し実施予定。

○質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（村・県・JR 東海・中部電力）
<p>会 長 只今進捗状況の説明がありました。質問がございましたら頂戴したいと思います。</p> <p>① → 林道大島虻川線の落石対策工ですが、上部からの落石が予測されます。最上部の落石対策工事について説明をいただきたい。</p> <p>→ 承知しました。かなり高い所にも大きな石があるので、調査をし危険のないような落石対策工事をお願いしたい。</p>	<p>⇒JR 東海 表面の脆い層を撤去の後に施工しています。最上部は突き出した形でネットを張り、上部からの落石への備えをしている箇所もあります。箇所毎に調査・設計を行い、対応しております。</p>

②中部電力 現在の進捗状況を配布資料とパワーポイントを使って説明

- ・工事用車両の通行ルート of 安全対策や改良箇所について、検討中のためまとまりしだい地元協議をしていきたい。6 月以降の予定。
- ・変電所用地については、土地売買契約や登記を進めています。
- ・変電所用地内の道路水路等についての協議を豊丘村との間で進めています。
- ・スケジュール説明 ◇10 月に道路改良、造成準備に着手予定 ◇本格的な造成着手予定 H31 年 3 月

○質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（村・県・JR東海・中部電力）
<p>会長 只今の中電さんの説明に何か質問がございますか。</p> <p>② → 交通安全施設の着手時期について要望したい。村道黒谷線の河野大宮神社上の横断歩道の移設が決まっているが、既設の横断歩道の表示がだいぶ薄くなった。早期に対応できないか。前回の説明では9月着手であったが今回の資料では10月となっている。何とか最初に施工出来るよう対応をお願いしたい。</p> <p>→ 承知しました。</p>	<p>⇒中部電力 現在警察手続きや豊丘村と協議を進めています。施工業者との契約が済みしだい対応するようにしたい。契約前には取り掛かれないのでご理解をお願いします。</p>

③長野県 長野県では郡部のリニア新幹線の用地取得事務を担当しております。豊丘村の状況は、前回と変わりがありません。坂島と戸中の非常口用地は取得済み。JR東海の変電所の用地と壬生沢坑口の用地は、測量が済みしだい交渉に入る予定であります。

○質疑応答 なし

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（村・県・JR東海・中部電力）
<p>会長 全体を通してご意見ご質問はございませんか？</p> <p>③ → JR東海さんをお願いします。福島地区の地下200mをトンネルが通る事により心配される水枯れ問題です。この問題について、福島地区で報告会を実施いただきたいと思います。壬生沢工区の発注が今年の秋という事ですが、トンネル掘削前に説明会を実施いただきたいと思います。中間説明でも結構ですので実施いただけるお約束をいただきたいと思います。</p> <p>→ お約束いただければ結構です。よろしく願いいたします。</p> <p>④ → 残土処分地の関係でお聞きします。豊丘村では本山を候補地としています。村内の中で心配されている方がおります。理由として「大鹿の四徳渡トンネル坑口付近崩落地と似た脆弱な地質ではないか」「また調査等がきちんと行われているのか」などが懸念材料となっています。逆の観点からしますと、活用という事からも話が進んでおりますが、残土を置きしっかりとした治山を行うという事にその安全がきちんと説明できれば良いのではとも思います。多くの方が高い所に多くの残土を置く事に心配されておりますが、地質に関する調査ですとか、梅雨の長雨や強雨による物もしっかりと調査して確実に安全に置く事、管理をどうしていくのか等をどのように考えているのかをお聞かせいただきたい。</p> <p>→ ありがとうございます。</p> <p>⑤ → 村民の方より質問が寄せられましたので、3つほど質問をさせていただきます。①変電所調整池の規模は100年に一度の大雨洪水に対応していると前回の対策委員会で説明がありました。その具体的な計算式を示していただきたいという要望がありました。②100年確率の降雨強度に対応していても、36災害は100年確率以下の降雨量でした。長雨による総降雨量により災害が発生したと言われております。計算にあたり、開発後の流出係数はどのように考えられているのでしょうか。今回の計算に使った係数をお示しいただけますでしょうか。</p>	<p>⇒JR東海 福島区の皆様からは水枯れの懸念をいただいております。前任からもこの事について引継をさせていただいております。請負事業者が決まっておりますので工法の詳細等決まっております。トンネル工事の始まる前に、工事の詳細が決まりましたら実施するようにしてまいります。</p> <p>⇒JR東海 しっかりと調査して、その場所に相応しい工事を行い、今より安定した地形に出来るのではないかとのご提案であり、それに関して当社としてどのように考えているかというご質問と思います。本山の発生土置き場に関しまして、十分な地質の調査を行っております。また地質調査に基づく適切な設計を行いまして、盛土が崩れないかの検証を確実にしております。それに加えて本山エリアへの流入水についても地元の皆様にご協力いただき調査しました。これは、本山の周りから崩落し影響を与える事はないかを調査いたしました。風化しやすい花崗岩があるとご懸念をいただいておりますが、岩質の違う安定した盛土を行うことによって、更に崩れにくくなるという事は検討しておりますし、しっかりと検証しお示ししているところです。ご心配もあらうと思いますが、当社としましてしっかりと検証しておりますので、ご安心いただきたいと思います。</p> <p>⇒JR東海 ①本日具体的な計算式につきまして用意がないのでお示し出来ません。調整池設計の考え方としては、長野県の基準であります「流域開発に伴う防災調整池等の設置基準」に沿って実施しております。その基準では、30年の降雨確率を用いる事となっておりますが、今回におきましては、地形等を考慮して調整池の形状を決定する中で、結果的に100年確率の雨量にも対応した容量の調整池とさせていただきます。②開発後の流出係数についてですが、こちらにおきましても県の基準であります「流域開発に伴う防災調整池等の設置基準」に基づきまして、開発後の流出係数は“0.9”としております。</p>

→ 今の流出係数“0.9”について調べましたところ、粉碎敷石について“0.8”を使っているという記述がありました。“0.8”を“0.9”としたのは、県の基準だからですか。他に理由があるんですか。

→ “0.9”は安全側に数値を高めたという事でよろしい訳ですか。

→ 流出係数は、降雨量に対して地表を流れていく雨の割合。例えば降った水は地中に浸透する、樹木に付着する。場合によってはそのまま蒸発するなどがあり、流れない物があるので“0.9”としているという理解でよろしいですね。先日虻川と本山の沢の合流点観察に行っていました。合流点では流量計を持って行かなかったので正確には解らないですが、常に沢の水が流れている状態でした。今までの経験で毎分 4t という流れ（笹吹市のトンネル湧水）を見た事がありますが、それには満たない量ですが、想像していたよりかなり多くの量が虻川へ流れ込んでいました。これまでの間に、あの流量の観察観測をしたことはあるでしょうか。

→ あくまでも「県の基準を」とおっしゃれますので、逆に言うと「私に県の基準に基づいて計算をしてみよう」と言うふうにとってよろしいですか。もう少し繰り返して言うと、その数値とか式を示してもらえるのでしょうか。

→ 言われました事は理解できました。ぜひ「素人でも解るように」とは申しません。専門的で結構ですので、こういう基準があって、そこにこういう値を入れて、その値を入れた理由と結論。「なのでこういう嵩の貯水を作ったんだ」という事をお示しいただきたいと思います。これは、JR 東海さんのみならず中部電力さんも調整池を作るという計画を聞いていますが、多分考えの基準は同じだと思いますが、佐原の変電所につきましても同じような資料をいただけますと、私やこれを知りたいと思っている方にとってはそれが答えになると思いますのでよろしくお願ひします。最後に③中部電力の工事も含めて、今まで同規模施設の鳥瞰図などで説明いただいておりますが、工事発注前に地元住民に計画と同規模の変電所を見学したいという要望をいただいております。以前私は機会をいただいて中部電力さんの計画同規模の変電所の見学をさせていただきました。それにより建設される変電所のイメージができました。中部電力さんと JR 東海さん、見学の機会を与えていただけるという事は可能でしょうか。今お答えいただけるようでしたらお答えいただきたいし、検討を必要とするのであれば何時くらいまでに返答いただけるかお聞かせください。

→ 多くの方に理解いただける機会をお作りいただきます事をお願いいたしまして質問といたします。

⑥ → 先ほど⑤委員さんからの質問がありました。虻川と本山の合流点で水を見たという報告でしたが、私は本山のきのこ山の関係で上からずっと沢を本山から虻川合流点まで 2 度ほど下りた経験があります。あの沢筋は、喬木境から始まって何本もの沢が合流して虻川へ流れ込んでいます。あくまで本山だけの水が合流点へ流れているのではないという事を、ここにおいでの方皆さんにご承知しておいていただきたいと思います。いくつもの沢から流れ込んでいるものだという事ですので誤解のないようお願いいたします。

会長 その他ご意見ございますか? — なし—

それでは、協議についてはこれで閉じたいと思います。その他について事務局から説明をお願いします。

⇒JR 東海 長野県の基準としましては、流出係数“0.9”となっております。基本的に“0.8”より“0.9”の方が安全側の数字となります。

⇒JR 東海 流出係数というのは、雨が“1”降った時にどれだけ浸透するかという数値です。“0.9”と言うのは、ほとんど浸透せず地表に留まり流れ出るという事になり、流量としては大きくなり水路や調整池も大きなものとなります。そのため安全側と考えております。

⇒JR 東海 流量等の調査につきましては、検討している発生土置き場の敷地内での沢の水の調査を行っております。天候の状況により流量は変化しますので、設計には観測値を用いるより長野県基準に記載のある降雨強度等と流域面積を参考に排水設備等の大きさを設計しております。

⇒JR 東海 そういう意味で申し上げたのでございません。長野県の基準に基づく式は公開されていますので、お示しする事は出来ますし、我々がなぜそう考えてこの様な結論に至ったかという事をご説明する事は出来ます。決して先ほど吉川議員が申されたような趣旨で発言した訳ではございません。

⇒JR 東海 今回、豊丘村内に計画する変電所と同規模と言いますと、実験線の設備となろうかと思ひます。説明の都合や、少人数で何度もという施設管理も含め対応できない事もあるかと思ひますので、豊丘村さんと相談させていただき調整させていただいた上で、お話しさせていただきたいと思ひます。

⇒中部電力 中部電力では、既に佐原地区の皆様、村会議員の皆様計画より少し大きい規模ですが、駒ヶ根にあります「南信変電所」を見学していただいております。施設内に入りますので、少人数で何度もという訳に行きませんので、JR 東海さん豊丘村さんと調整させていただき、実施できるのであれば対応して参ります。

(2) その他

▶豊丘村

次回の対策委員会の予定をおつなぎ致します。概ね2ヵ月に1回のペースで開催をしてきておりますので、次回を平成30年7月の中下旬（pm 7:00～）に開催できればと考えております。事業者をはじめ関係する皆さんと調整させていただきまして改めてご通知したいと思います。

最後に一点お願いをいたします。今晚もそうでしたが、委員の皆様が一般住民の方からご質問やご意見をお預かりしてきて発言する場面がございます。今後もこの様な事があろうかと思えます。質問や要望などへの回答をスムーズにまた適切に行うために、発言依頼がございましたら事前に内容と依頼者のお名前をお知らせいただきたいと思います。事務局から事業者へ回答の準備を依頼させていただきますし、内容によっては直接依頼者の方へ事業者より回答していただく事もあろうかと思えます。また、この場で発言する事が以前と重複したり、専門性が高すぎたりという事がありましたら、この場での発言を控えていただき、事務局の方から事業者へ確認してお答えする事が良いかと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

6. 閉 会 ○終了時間 午後8時05分